



【上図】(左・右下)VR作品『東大寺大仏の世界』 総監修:華嚴宗大本山東大寺  
監修:東京国立博物館/鈴木嘉吉(東大寺境内整備計画委員会 委員長) 製作・著作:凸版印刷株式会社/読売新聞社

## VR Visionary Talk

### 「VRで入門！英語でプレゼンする日本の魅力～東大寺の大仏を語ろう～」を開催

「VR Visionary Talk」は、VR(バーチャルリアリティ)を始めとする最先端技術を使いながら、様々なジャンルの有識者が知的好奇心を刺激するトークを繰り広げ、美術館や博物館での鑑賞とは違った視点で文化財の魅力を手感できるシリーズです。

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、森ビル株式会社アカデミーヒルズと共同で、VR Visionary Talk「VRで入門！英語でプレゼンする日本の魅力～東大寺の大仏を語ろう～」を2016年9月21日に開催します。

訪日外国人観光客数が2015年に1,974万7,000人に達し、3年連続で最高を更新しました。今年もすでに前年の約27%増加し(※1)、今後も増加が見込まれます。訪れた外国人の方に日本文化を紹介する機会も増えることが予想されますが自信がない、という人も多いはず。今回、日本文化の魅力を学びながら英語で説明するコツを学ぶことができる、日本文化と英会話の融合セミナーを企画いたしました。

今回は観光通訳ガイドのプロフェッショナルとして長年活躍し、NHK Eテレの「トラッドジャパン」でもおなじみの江口裕之氏を講師にお招きし、日本の観光名所の代表である国宝「東大寺 大仏」に焦点を当て、その歴史や魅力について、英語でどのようにプレゼンテーションすると効果的なのかを解説します。奈良・東大寺大仏をテーマにした高精細なVRをスクリーンに投影し、東京にしながら、まるで東大寺大仏殿に訪れたかのような臨場感でバーチャル体験しながら、インタラクティブな講義を行います。仏教・仏像とはなんなのか？その魅力は？今日の日本文化のルーツを英語と同時に学べるセミナーです。

※1 「日本政府観光局(JNTO)」より

- 名称: 六本木アートカレッジセミナーシリーズ VR Visionary Talk  
「VRで入門！英語でプレゼンする日本の魅力～東大寺の大仏を語ろう～」
- 会場: アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 日時: 2016/9/21(水) 19:30-21:00    ■ 受講料: 5,000円    ■ 定員: 80名
- 申込みURL: <http://www.academyhills.com/school/artcollege/detail/toppan20160921.html>

[ 報道に関するお問い合わせ・掲載用写真について ]

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当

E-mail: bunkajigyo@toppan.co.jp TEL: 03-5840-4899 FAX: 03-5840-1910

## □ 講師紹介：江口 裕之(えぐち ひろゆき) CEL英語ソリューションズ 最高教育責任者



1957年長崎県生まれ。国立北九州高専化学工学科卒業後、プロのミュージシャンとして全国で演奏活動を展開。その後、通訳・翻訳家として活躍。1989年から一貫して通訳案内士の育成に携わる。2001年1月、東京に英語学校のCEL英語ソリューションズを設立、現在、最高教育責任者。2009年4月～2013年3月、NHKEテレ『トラッドジャパン』講師。著書に『新・英語で語る日本事情』(The Japan Times)、『英語で伝えたいふつうの日本』(DHC)、『日本まるごと英単語帳』(NHK出版)他、音楽CDに『My Good Ol' Songs』(アソル・ハーモニクス)などがある。

## □ プログラム

1. 仏教の基礎知識： 仏教の基礎知識と、それらを英語で説明するコツを紹介します。
2. 東大寺の基礎知識： 東大寺大仏の高精細映像を鑑賞しながら、その成り立ちなどについて紹介します。
3. 東大寺の英語バーチャルツアー： 高精細VRを操作しながら、まるで東大寺を訪れたかのような臨場感で講師が英語によるバーチャルツアーを実演します。また、要点については受講生への発言を促しながらインタラクティブに進行します。

## □ 六本木アートカレッジに関するお問い合わせ

アカデミーヒルズ スクール事務局 「Roppongi BIZ」あて

受付時間：10:00-18:30（土・日・祝・年末年始を除く）

※お電話及びメールでの講座お申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

電話番号：03-6406-6200

サイトURL：[https://form.mori.co.jp/form/pub/academy/biz\\_inquiry](https://form.mori.co.jp/form/pub/academy/biz_inquiry)

## □ 公式Facebookページ



文化財VRを活用したトークイベントVR Visionary Talk の公式 Facebookページにてイベントの最新情報や開催レポートをお届けします。

<https://www.facebook.com/vrvisionarytalk/>

## ※凸版印刷のVR・デジタルアーカイブへの取り組み

凸版印刷では「印刷テクノロジー」で培った高精細・大容量のデジタル画像処理技術やカラーマネジメント技術、立体形状計測技術を核に、文化財の高精細デジタルアーカイブに取り組み、これまでに、マチュピチュ(ペルー)、国宝「鑑真和上坐像」(唐招提寺所蔵)、国宝「檜図屏風」(東京国立博物館所蔵)など、国内外で数々の貴重な文化財や世界遺産をデジタルアーカイブ化しています。さらに、文化財のデジタル展示手法としてVR技術の開発に取り組み、『ナスカ』や『唐招提寺～金堂の技と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美～』、『洛中洛外図屏風 舟木本』など、著名な文化財をテーマにしたVR作品を1997年から50本製作しています。また、大型スクリーンを用いたVRシアターの導入を進め、海外では中国・故宮博物院やホンジュラス共和国博物館、国内では東京国立博物館の「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」や日光東照宮東照宮シアター、堺市博物館 百舌鳥古墳群シアターなど22拠点到つパンVR システムを導入、文化財VR 作品を上映・上演しています。

公式サイトURL：<http://www.toppan-vr.jp/bunka/>